

# 令和5年度 瑞浪北中学校経営方針

2023.4.1 校長

1

学校の教育目標 (教育を通じた普遍的・不変的・包括的な目標)

## 自ら学び 自ら鍛える

2

校訓 (学校教育目標の核・後ろ盾)

## 集中と継続

3

めざす学校 (学校としてのめざす姿)

## 地域と結びつく学校

4

令和5年度のキーワード (今年度の重点)

## 成長の実感

— 成功体験・失敗体験を通して —

◇ことの大小問わず自身の確かな成長が実感できてこそ、自信となり、新たな目標が生まれ、主体的な姿勢にもつながる。それは、成功体験からだけでなく、失敗体験からも成長は実感できるものである。失敗があったからこそその成功は、成功体験により大きな成長となる可能性を秘めている。そして、年度終了時には、自身の頑張り・成長に自信をもって新たなスタートに向かってほしい。  
【生徒アンケート：1,2学期末80%以上、学年末90%以上】

5 学校経営の重点

**的確な状況把握に基づき、主体的な姿勢を育む教育活動を展開し、タイムリーな価値付けを継続していくことで、自らの成長を実感し、より高みを目指そうとする意欲につなげられる生徒を育成する**

(1) 自ら求め、他と切磋琢磨する中で、生きる力を育てる

【学習部】

学習指導	生徒一人一人が主体的に学び、獲得した価値や付けた力が実感できる学習指導 【生徒アンケート(主体的な姿勢)：70%以上】
道徳教育	自己をじっくりと見つめる心と、他を深く思いやる心を育てる道徳指導
特別支援教育	一人一人のニーズを明確にし、自立に必要な力を育てる特別支援教育
進路指導	地域や社会とのつながりを意識させ、自己を生かし伸ばす進路指導
人権教育	互いのよさを認め合い、自他の大切さを認めることができる人権教育
総合的な学習	探究的学習により、環境に対する興味感心をもち、よりよくしようとする意識を高める総合的な学習

(2) 生徒に自信と誇りをもたせ、仲間との関わりの中で自己有用感を涵養する

【特活部】

生徒指導	共感的な理解と確かな方向付けに徹し、自己指導能力を育てる生徒指導
学年・学級経営	生徒一人一人のよさを価値付け、自己有用感をもたせる学年・学級経営 【QU 学校生活意欲：90%以上(R4：84%)】
特別活動(行事)	個の違いを認めながら、集団としてやりきった事実や努力を価値づけ、個や集団の成長を実現する特活指導 (特別支援教育の観点を大切に特活指導)
生徒会活動	主体性や自治力を育て、学校や地域への誇りや愛着を育てる生徒会活動

(3) 報・連・相を徹底し、**生徒の安全安心、命や身体を守ることを最優先**する

【生健部】

保健安全	危機感と最悪事態のイメージを忘れず、生徒の笑顔を維持する保健安全指導 (感染予防を粛々と行いながら、状況把握に基づき、創意工夫した活動を生み出す)
教育相談	迅速かつ親身の対応を心がけ、生徒の不安や悩みに寄り添う教育相談
環境整備	日常的な整理整頓と清々しいレイアウト、ユニバーサルデザインの観点からの 掲示、週3回の清掃活動の充実による環境整備への意識高揚 スーパーエコス クールとしての機能の有効活用 【生徒アンケート(環境美化への意識・行動): 70%以上】

(4) **地域の一員としての自覚を高め、主体的な地域連携ができる人間を育成**する

【全職員】

地域貢献	かけられた期待や置かれた立場を自覚した主体性のある地域連携 ※コミュニティ・スクール発足年である今年度、保護者・地域への周知とともに に学校運営協議会との連携を図りながらできることから無理なく着実に取り 組んでいく。 【保護者アンケート(コミュニティ・スクールについての認知度): 80%以上】
------	--

## 6 経営の基盤（教師の在り様）

### (1) 特支、教育相談、生徒指導の観点

- ① 経験年数に関係なく、校務分掌においては自分がリーダーだと自覚して計画立案し、実践する。  
(願いや強い想いを基にした創意工夫ある計画の推進)
- ② 報・連・相を徹底し、全ての教育活動、生徒理解や事案の対処に（特支→教相→生指の観点をもち）組織として取り組む。
- ③ 生徒の成長のことを第一に考え、温かさと厳しさの両面を兼ね備えた職員集団を目指す。

### (2) 保護者や地域との信頼関係の構築

- ① 「目の前にしている生徒にとってどうか」を全ての判断基準にし、生徒の安全安心、命や体を最優先する。
- ② 保護者や地域からの相談や情報提供については、即日対応・確実対応を心掛ける。
- ③ 学校生活における生徒の情報を詳細に記録し、それをためらわずに保護者に提供する。
- ④ 地域と良好な関係を築き、(北中は4地区に)支えられているという意識をもって指導にあたる。
- ⑤ コミュニティ・スクールについて、学校運営協議会の活動やメンバーについて、全職員が理解し出来る限りの関わりを生み出す。

### (3) 教科の専門家として知識や技能を十分に有し、その本質に基づく魅力的な授業の創造

- 過去の実践の繰り返しではなく、生徒の意欲や関心を引き出す「魅力的な教材開発、指導過程や指導方法の大胆な工夫」をする。(課題設定のあり方、課題の文言にこだわる)
- 授業に動きや形態の変化を取り入れ、学習に向かう生徒たちに楽しさと勢いを与える。

### (4) 教育のプロとしての自覚をもち、自分の姿や方法で生徒たちに生き方を示す

- 生徒たちに「この先生はここがすごい！」と印象づけられる「武器」をもち、それを日常的に発揮する。
- 生徒の成長や変化を目ざとくとらえ、機を逃さず位置付け・価値付け・面談等を行う。
- 教師自らが主体的な姿を示していく。(共通理解のもと、失敗を恐れず、創意工夫ある活動を展開する)

### (5) 大人としての責任にあふれ、子どもの安全安心・命や身体を最優先にする

- 常に最悪の事態を想定し、「万が一」が現実になることを避けるために「手間を惜しまずに先見行動」する。
- 障がいのある生徒や弱い立場の生徒に対する人間としてあるべき姿を示し、「差別や偏見を生み出さない学級・学年経営」ができる。

### (6) 社会人としての常識やマナーを兼ね備え、保護者や地域と信頼関係を構築する

- 温かい言葉遣いや素早く丁寧な応対、美しい環境づくりを自ら実践し、保護者の信頼を集めることができる。(来校者・電話対応も同様)
- 地域の期待や故郷の尊さを強く自覚し、ボランティア活動や地域行事に主体的に参加した生徒たちの想いを拾い、意図的に価値づける。
- 共通理解の弱さや独断による方向性の相違を生み出さないよう、「全教職員で生徒を育てる」という意識を常にもつ。
- 「自省・自戒の念」をもち、自身の向上を目指す。
- メリハリのある勤務を自身で構築する。

#### <教師の基本>

- 「師弟同行」(姿で指導)
- 「率先垂範」(意欲で指導)
- 「受容と毅然」(心で指導)